2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	循環器情報生理学特論Ⅰ・Ⅲ	上村 史朗

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

循環器疾患の病態生理を詳細に理解するために，最新の画像診断技術を理解し習得する。
また、その基礎となる循環器疾患の基礎病態と治療法を学ぶ。

授業到達目標

（1）心エコー図や血管内超音波，光干渉断層法等の各種画像診断法により心疾患患者の病態を評価できる。
（2）画像診断を生かしたカテーテル治療法を習得できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	9：00-12:00	上村 史朗	講義	[症例検討会]	循環器内科に入院する患者を対象として，心エコー図、血管内超音波，光干渉断層法等の各種画像診断法の実際を経験し，研究的応用ができるように研鑽する。 [場所:西館棟９階カンファレンス室]
2	毎週	火	17:00-18:00	上村 史朗	講義	研究検討会	循環器病学全般についての最新の文献を紹介，内容を討論する。 循環器疾患の研究分野における最新の動向を学び，自身の研究にどうフィードバックするかを討論する。 [場所:西館棟９階カンファレンス室]
3	毎週	火	8:00-8:45	上村 史朗	講義	[症例検討会]	心臓血管外科と循環器内科が合同して症例の診断と治療法を検討する。 [場所:西館棟９階カンファレンス室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

作成されたレポートの内容に対して意見や修正を加えて，後に返却してフィードバックする。

教科書

ISBN-9784524250134, チャートでわかる実践心エコー図法 : エキスパートへの近道(改訂第 2 版), 吉田　清　他(編集), 南江堂, 2009
ISBN-9783030257101, Cardiovascular OCT Imaging, Ik Kyung Jang, Springer, 2020

参考書

ISBN-9783030257101, Cardiovascular OCT Imaging (2nd edition), I.-K. Jang (ed.), Springer, 2020
ISBN-9784524260027, チャートでわかる実践 IVUS, OCT & FFR, 大倉宏之（編著）, 南江堂, 2009

準備学習（予習・復習等）

（1）内容は事前に掲示するので，臨床的内容に関しては Up-To-Date で，研究的内容に関しては参考書で該当箇所を予習しておく。
（2）動脈硬化性心血管疾患の一般的知識を予習，復習すること。
（予習 1 時間・復習 30 分）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

以下の項目を満たした場合に，修了認定判断する。
（1）課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉している。
（2）卓越した研究成果をあげ，専門分野の深い学識を獲得している。
（3）医学・医療分野を牽引し，指導的役割を果たすことができる。
（4）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につけている。

注意事項・メッセージ

一流の循環器関連医学雑誌から，トピックスに合致する臨床論文を読む習慣をつけてください。